

エアコンで防ごう熱中症

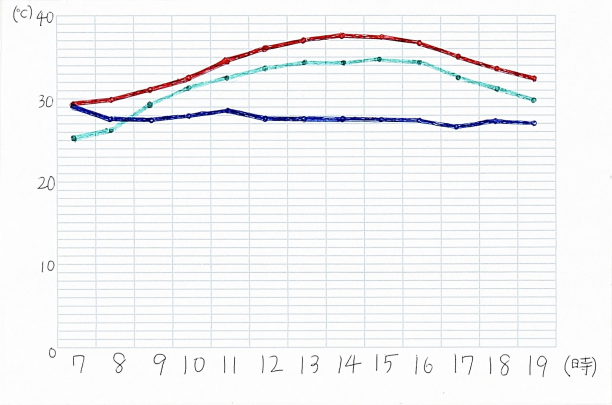
今年の夏は、最高気温が35℃を超える猛暑日が続きました。そんな中、エアコンを使わず、外から吹いてくる風や扇風機だけで生活して、熱中症になる高齢者が増えています。では、エアコンを使用した生活と、使用しない生活ではどのくらい違うのでしょうか。

◎まず、2019年8月12日(月)の気温と湿度を測りました。

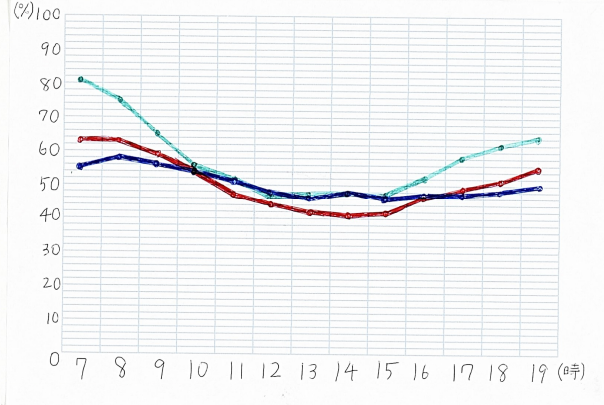
測り方…エアコンを28℃の自動モードに設定し、使用した部屋と、窓を開け、扇風機(风量:中)を使用した部屋に、それぞれ同じ温度計を、部屋の中心のテーブルの上に置いて、7時~19時の間測りました。

- … エアコンを28℃自動モードに設定し、7時~19時まで使用した部屋
- … 窓を開け、扇風機(风量:中)を7時~19時まで使用した部屋
- … 甲府地方気象台の観測データ

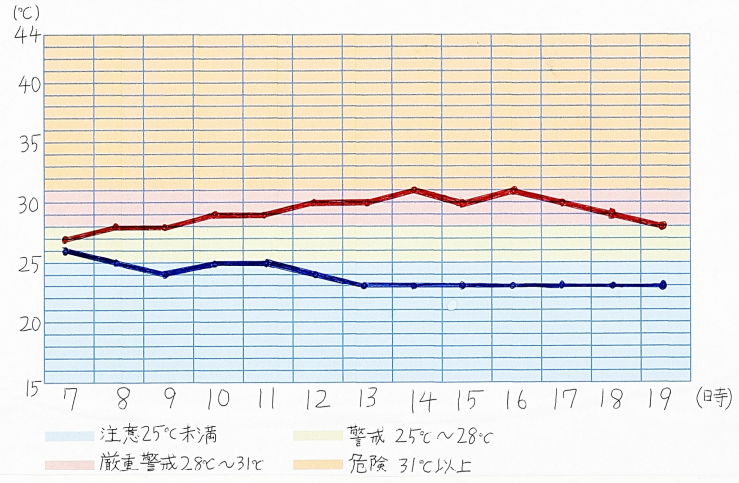
気 温



湿 度



◎次に、上のデータを暑さ指数(WBGT値)に当てはめました。



結果

- エアコンを使用した部屋は、気温は28℃前後、湿度は50%前後で安定し、快適だった。暑さ指数(WBGT値)も低く、「注意」がほとんどだった。
- 窓を開け、扇風機を使用した部屋は、気温が12時~17時に35℃を超え、湿度も朝と夜に高くなり、とても暑かった。暑さ指数(WBGT値)もほとんどが「嚴重警戒」や「危険」だった。

まとめ

エアコンの使用は熱中症予防に大きくつながる。上手に使用して、熱中症を予防したい。

参考

- 気象庁ホームページ 1時間ごとの値 2019年8月12日
- 環境省熱中症予防情報サイト